

## 杉原ウィーク2022・第23回杉原千畝記念短歌大会作品選考結果

(学生の部)

人道大賞	命とは数字だけなら分からない一つ一つに物語がある	阿部理央	福島県立会津学鳳中学校1年
------	--------------------------	------	---------------

(一般の部)

人道大賞	ウクライナ・ロシアの兵もそれぞれに愛しい人を想うたそがれ	堀野慎吉	岐阜県関市
------	------------------------------	------	-------

(小学生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	閉じこもる辛さは僕も知ってるよ一緒に虹を早く見ようね	岡崎創	八百津町立和知小学校5年
愛賞	こうんのがけからみつめるカモシカよたいせつにしていのはひとつ	山田隼大	八百津町立潮見小学校4年
心賞	ばくげきに逃げる足音とぼくが歩く足音両方聞いている地球	横道玄	光市立光井小学校6年
心賞	みちばたにシロツメグサが咲いているそれはちいさなしあわせですか	武市起成	八百津町立八百津小学校4年
勇気賞	てんびんにかげられないほど大切な受けつがれてきた自分の命	岡本美海	岡山県鏡野町立奥津小学校6年
勇気賞	しあわせだかぞくそろってゆうごはんミサイルのおともせんしゃもこない	井戸秋菜	八百津町立久田見小学校4年
佳作	めだかはねひろいところがすきなんだせまいところがだいきらいなの	古田かれん	八百津町立八百津小学校3年
佳作	青空はきれいなくもがいっぱいだきれいなかたちいろいろだ	岩井結来	八百津町立八百津小学校3年
佳作	曾祖母に(ひいばあに)おりん鳴らして合図する会えないけれど対話の時間	内山和香	岡崎市立六名小学校6年
佳作	子どもらの未来の平和築くため願い届けとあさひがのぼる	柴田紗那	美濃加茂市立三和小学校6年
佳作	せんそうは人がきずつくいやなものまっくらよるはふあんになるよ	川合美遥	八百津町立和知小学校4年
奨励賞	しぜんはねきもちいいこといっぱいあるたとえば風の音や川の音	島崎楽久	郡上市立大和南小学校3年
奨励賞	いつもの日毎日くる日つままないだけこの日がまさしく平和	金井沙奈	八百津町立久田見小学校6年
奨励賞	つばめがね力合わせて巣を作る一生けんめい命をつなぐ	木村望彩	郡上市立大和南小学校5年
奨励賞	雨がふる心がぬれた友達に声をかけよう心が晴れる	辻 怜央	八百津町立八百津小学校6年
奨励賞	妹よその笑顔からあふれだす平和のしずく皆(みな)に広げれ	今田芽理	日仏文化学院パリ日本人学校小学部3年
奨励賞	命とは全てがかがやくたからもものいろんな色がかがやいている	川上知紗	名古屋市立平和小学校6年
奨励賞	友達に今ほめられて花が咲く私の心にあたたかい花	岩田依実	川辺町立川辺西小学校6年
奨励賞	あさおきてうらのはたけをみてみたらあかいいちごがたべられた	月村仁彦	八百津町立久田見小学校1年
奨励賞	楽しいなキャンプで食べる家族ごはんとてもきれいな星の空	各務市夏	八百津町立久田見小学校3年
奨励賞	そるとくん毛ははい色で太っていてまるでモップだでもよくほえる	山田善之	八百津町立八百津小学校4年

## (中学生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	いつの日か子を持つ僕は掌(てのひら)でどれだけの愛をあげられるかな	十倍颯太	成城中学校3年
愛賞	この空の一番綺麗なあの場所を苦しんでいるあなたの心に	臼田凜	八百津町立八百津中学校2年
心賞	モノクロの戦争遂にカラーになり祖母から聞いた話現実になる	原山樹生	成城中学校3年
心賞	国のため死にゆく彼が見る物は見知らぬ家族の最後の愛か	山崎日向	大阪市立天満中学校3年
勇気賞	ウクライナの少女が歌うレリゴーを聴きながらただ震えてる私	荻原咲	鳥取市立南中学校3年
勇気賞	思い出は僕だけだと意味がない君がいてこそきれいな宝石	三浦遼己	成城中学校3年
佳作	CONTACTに替えたばかりのこの目には戦争だけは見せたくないよ	阿地しずく	阿南市立阿南第一中学校3年
佳作	サツマイモ嫌いな祖父と好きな孫祖父からしたらあまくない芋	大久保雄貴	成城中学校3年
佳作	テレビ見てマトリョーシカをいじる間も戦っている人間がいる	田村丈	京都教育大学附属京都小中学校7年(1年)
佳作	生きているただそれだけで美しい朝の教室あいさつの声	前田花成	静岡市立豊田中学校2年
佳作	どこまでも果てしなく青いきれいな海今日も朝日が照らして光る	佐伯衣緒里	川辺町立川辺中学校2年
奨励賞	「平和」とは考えているときすでに平和なのではないのだろうか	徳光里咲	京都教育大学附属京都小中学校7年(1年)
奨励賞	爽やかな空にまたがるあの虹もきっと誰かの力になってる	高橋あかり	名古屋市立桜丘中学校2年
奨励賞	あなたのようなれるだろうかこの僕がふとした時に見上げて想う	小森楓太	八百津町立八百津中学校1年
奨励賞	ウクライナ今も戦争してるのにテレビでは一部しか映らない	大西月愛	京都教育大学附属京都小中学校7年(1年)
奨励賞	戦争から帰った人と思えない仏壇の中の曾祖父の笑顔	伊藤陽菜	福島県立会津学鳳中学校1年
奨励賞	テレビから絶えず聞こえる銃声がゲームかリアルかわからない世界	近藤修真	成城中学校3年
奨励賞	試合の日弁当箱を取り出すと「ファイト！」と書かれた紙が出てきた	鵜飼佐弥子	八百津町立八百津中学校3年
奨励賞	青い空雲一つないウクライナに黄色い小麦グングン実る	クレアけんと	日仏文化学院パリ日本人学校中学部2年
奨励賞	寒い冬ココアを飲んで母見るとなぜだか急にほっこりする	植田大翔	静岡市立豊田中学校2年
奨励賞	純白のアネモネの花に見とれた日知らない間にアリを踏んだ日	竹田紗世	東京都立小石川中等教育学校3年

## (高校生・大学生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	マリウポリキーウハルキウルハンシクその名を知らぬ日には戻れぬ	内村佳保	日本大学大学院2年
愛賞	夏休みのアラーム八時十五分今は僕たち二度寝ができる	信田龍之介	武蔵野大学附属千代田高等学院2年
心賞	戦争を知らないことが平和だと初めて知った15歳	足立優真	淳心学院高等学校1年
心賞	いつの日か私たちの知る泣き声は命の始まりのときだけになれ	武藤美悠	青山学院大学2年
勇気賞	闇の中包まれているひまわりが咲き誇る日がまた来るように	大山萌栞	愛知県立杏和高等学校3年
勇気賞	もしかしてここかもしれない戦火の街私達には何ができるか	宮本はな子	加藤学園高等学校2年
佳作	銃弾は飛ばない町の月曜日ありふれている電車の遅延	鮎川奈々子	法政大学3年
佳作	戦争を知る人どんどんいなくなるだけど地面がきおくをきざむ	稲生拓人	日星高等学校1年
佳作	「また明日」その一言さえ不確かで言えず別れる国があると知る	羽田野真由	中京大学3年
佳作	コンビニで肩をぶつけてきた人も片方の手に花束を持つ	真寿田蓮	東京大学2年
佳作	風がふき鳥と緑が謳いだす今日もわたしの鼓動が聞こえる	木村花笑	愛知県立杏和高等学校1年
奨励賞	泣けてくる笑みがこぼれる腹が立つそれらはすべて生きているから	森本陽茉莉	愛知県立杏和高等学校3年
奨励賞	広島で聞いた話は重いのに写真だけでは薄っぺらい	山田泰生	愛知県立杏和高等学校3年
奨励賞	人間も地球も卵もまるまって生まれたひとつだけの命だ	鶴岡文芽	青山学院大学2年
奨励賞	取り敢えず手と手つなげば平和だね手がふさがれば武器はもてない	佐々木桜	東京都立墨田川高等学校3年
奨励賞	人の手は銃を持つためにあるんじゃない人を愛するためにあるのだ	花木磨周	愛知県立杏和高等学校2年
奨励賞	国のため互いの命奪い合いオリーブの芽を踏みゆく兵隊	山崎敦貴	中京大学2年
奨励賞	狙撃者が廃墟に佇み見上げればモノクロームの虹が濡れてる	尾島蓮瑛	立命館高等学校2年
奨励賞	我らにも語り継がれる命のビザ次は私が語り手になる	萩瞭仁	愛知県立瑞陵高等学校1年
奨励賞	流れゆく砂を眺める私たちひっくり返せ平和の時計	石井美羽	愛知県立瑞陵高等学校2年
奨励賞	原爆で溶けたガラスの青色と黒い気持ちが心に刺さる	森智哉	愛知県立瑞陵高等学校1年

## (一般の部)

	句	氏名	住所
愛賞	陽のにほひ残る布団に包(くる)まりて息を潜める避難民思ふ	濱田静江	愛知県北名古屋市
愛賞	病名を告げえぬ人に風が言ふ白い嘘ならついてもいいよ	早坂尚輝	神奈川県横浜市
心賞	「戦争は馬鹿の仕事」とビルマより退(ひ)きし看護婦吐き捨てにけり	西尾嘉浩	岐阜県中津川市
心賞	壇上で証書受ける子戦禍の子の子ども誰かの大事な子ども	野田鮎子	東京都府中市
勇気賞	本当は花屋になりたい少年が夢は兵隊さんだと言った	本田わらび	大阪府豊中市
勇気賞	遠くしてかかる近さのウクライナ今液晶に戦車の走る	瀬戸内光	山口県光市
佳作	またしても千畝に光当たる刻(とき)人は学べぬ者と言いたし	朝岡剛	山形県酒田市
佳作	フィクションの戦争をする本当の人が死なないことだけ違う	高遠見上	大阪府高槻市
佳作	平和とは多分このこと向日葵をひまはりとして眺めたること	木村圭	新潟県南魚沼市
佳作	ピロシキを無邪気に食ひし日を想ふキエフがキーウに変はる春の日	横山徹	埼玉県所沢市
佳作	戦闘のニュース番組繁(しげ)きなか「ロシア語講座」ひっそり消えぬ	西尾房子	岐阜県中津川市
奨励賞	警報が鳴るたび走る防空壕あれは四才赤い草履で	横山美枝子	岐阜県羽島市
奨励賞	この空の続くところにある戦(いくさ)トンビ静かに旋回しおり	吉野キヨミ	熊本県八代市
奨励賞	八月六日夾竹桃(きょうちくとう)の老木が炎となりて直立している	井田寿一	滋賀県東近江市
奨励賞	生きてゆくかなしみを背負ひたくましく北の大地に咲けるひまはり	木立徹	青森県八戸市
奨励賞	これは窓、あれは空だよ産声を待ちつつ妻は世界を教える	木村佳慧	広島県府中町
奨励賞	靴を履く途中だつたとどちは言ふヒロシマで逝きし祖母のおとうと	染川ゆり	福岡県大野城市
奨励賞	公園にボールを蹴る子鳩追う児若草いろの命がひかる	大栗紀美子	岐阜県岐阜市
奨励賞	孫描く「平和」のポスター肌の色違う手と手が握手している	井田あさみ	滋賀県東近江市
奨励賞	日本も侵略をした国だった五泊せし孫に語りてきかず	黒木直行	宮崎県日向市
奨励賞	壊滅の街で兵士が一匹の汚れた猫を抱きしめてゐる	勝俣文子	東京都千代田区

## (学校賞)

学校賞	八百津町立和知小学校
奨励賞	川辺町立川辺中学校
奨励賞	宮城県宮城第一高等学校

## (町内学校優秀賞)

	句	氏名	学校
八百津小学校	うみはあおサンゴはピンクとりはしろうみのうえにはにゆうどうぐも	伊佐治瑠依	八百津小学校4年
錦津小学校	わたしがねほねおったときみんながねほかのあそびをかながえてくれたよ	小島寿珠	錦津小学校2年
和知小学校	みんながねやさしくなればいいのになせんそうなんかしなくていいよ	河合望那	和知小学校4年
久田見小学校	メダカたちちがう色でもなかよしだいつかぼくもこうなりたいな	民田龍之介	久田見小学校5年
潮見小学校	ぼくたちが通う学校ハチがいる守り続ける小さな命	山田朔叶	潮見小学校4年
八百津東部中学校	戦争で求めているのは避難でも武器でもなくて平和一択	各務礼於菜	八百津東部中学校2年
八百津中学校	毎日の笑顔絶えない日常を守り続けた命のビザは	伊藤彰宏	八百津中学校2年
八百津中学校	悪口を気づかないふりしてただけ本当はすごく傷ついていた	長瀬帆乃香	八百津中学校3年